

静岡県日中友好協議会

No. 124

NEWS LETTER

2021.10



視窓 秀麗な中国四大西湖 ≪ 穎 州 西 湖 ≫

中国四大西湖の一つに数えられる「穎州西湖」は安徽省の省都・合肥市から北西部の阜陽市に位置します。阜陽市の古称は「穎州」と言われていました。現在の「穎州西湖」は1938年の黄河決壊事件（洪水氾濫）の影響を受け、その景観は著しく失われ、80年代に復元整備されました。

古来、「穎州」は穎河、清河、小汝河、白龍溝の4つの水域合流地点であり、交通の要衝地でした。「穎州西湖」は3000年以上の歴史があります。周時代にこの西湖の存在を示す古籍の記載があり、唐宋時代には風光明媚な景色を持つ湖として広く知られるようになっていました。

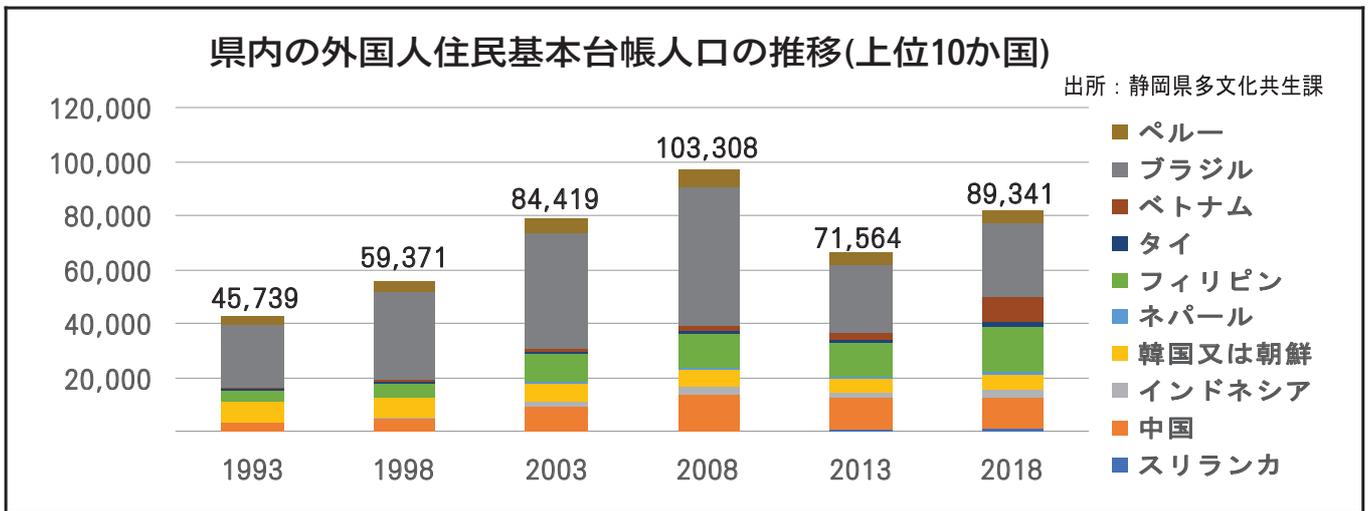
北宋時代、「穎州西湖」は杭州の西湖と並んで2つ合わせて「杭・穎」と呼ばれていました。詩人・蘇軾（蘇東波）の詩編に、“太山秋毫両無窮、鉅細本出相形中。大千起滅一塵裏、未覺杭穎誰雌雄。”（泰山も、秋に生えかわる獣の細毛も、どちらも存在は無限であって、大小の違いは相対によって生まれるものなので、杭州の西湖と穎州の西湖のどちらが勝っているかを比べることなどできない。）があり、「穎州西湖」の美しさを讃えています。

特集 県内で暮らす外国人：約100,000人

静岡県には、125の国・地域から約100,000人（出入国管理庁統計）の外国人が暮らしています。県民の約2.7%を占め、県民の約37人に1人が外国籍住民という計算になります。市町別にみると、浜松市が最多であり、磐田市、掛川市、袋井市、湖西市、御前崎市、菊川市、牧之原市、清水町、吉田町の外国人人口が多い状況にあります。

また、県内の外国人労働者は約65,700人（静岡労働局）で、届け出が義務化されて以降、過去最高を更新しました。国籍別では、ブラジルが最も多く19,196人、次いでフィリピン12,446人、ベトナム11,143人の順となり、中国は7,566人でした。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、新規入国者が大幅に減少したことにより、2020年末時点では、在留外国人数は減少しました。国籍別に見ると、2008年まではブラジル人が半数を占めていましたが、近年では、ベトナム人の技能実習や留学資格での入国者が急増し、2008年と比べると5倍以上となるなど、国籍の構成が変化しています。在留資格をみると、49%が中長期在留者、20%が永住者、10%が定住者、7%が技能実習生となっています。



在留資格別在留外国人数（2020年）

出所：出入国在留管理庁

都道府県	計	中長期在留者	永住者	技能実習	技術・人文知識・国際業務	留学	定住者	家族滞在	日本人の配偶者等	特定活動	その他	特別永住者
総数	2,887,116	2,582,686	807,517	378,200	283,380	280,901	201,329	196,622	142,735	103,422	188,580	304,430
対前年末増減率(%)	-1.6	-1.4	1.8	-8.0	4.2	-18.8	-1.7	-2.4	-1.7	58.7	3.6	-2.6
静岡県	99,629	96,546	38,379	14,075	5,632	4,037	19,143	2,831	5,762	2,094	4,593	3,083
対前年末増減率(%)	-0.5	-0.4	0.5	-11.7	13.7	-3.8	-1.5	0.9	-5.2	112.2	5.1	-3.6

県内 在留資格別外国人労働者数（2020年）

出所：静岡労働局

	全在留資格計	①専門的・技術的分野の在留資格		②特定活動	③技能実習	④資格外活動		計
		計	うち技術・人文知識・国際業務			計	うち留学	
総数	65,734	6,837 (10.4%)	4,932 (7.5%)	789 (1.2%)	15,894 (24.2%)	4,761 (7.2%)	4,033 (6.1%)	37,453 (57.0%)
中国 (香港等を含む)	7,566 [11.5%]	1,455 (19.2%)	1,110 (14.7%)	83 (1.1%)	3,044 (40.2%)	852 (11.3%)	698 (9.2%)	2,132 (28.2%)

県内の外国人支援サービス

「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」を目指す多文化共生社会において、本県・市町でも（１）コミュニケーション支援、（２）生活支援、（３）意識啓発と社会参画支援、（４）地域活性化の推進やグローバル化への対応に取り組んでいます。

【静岡県】静岡県多文化共生総合相談センター かめりあ

詳細→ <http://www.sir.or.jp/news/detail/id=2491>

対応言語：日本語、ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語、英語、ベトナム語、中国語など

静岡県では、在留資格・労働・医療・福祉に関することなど、外国人県民の方々が、生活するうえで困っていることを解決するお手伝いをする「静岡県多文化共生総合相談センターかめりあ」を開設しています。各市町や関係機関とも連携し、必要な窓口へつなぐこともできます。また、外国人からの相談だけでなく、外国人を雇用、支援している日本人も相談できます。

・新型コロナウイルス多言語相談ホットライン

対応言語：英語、中国語、韓国語、タイ語、ベトナム語など

感染の心配のある外国人県民が多言語で帰国者・接触者相談センターに三者通話を用いた相談ができます。毎日24時間対応。無料。TEL：0120-997-479

【静岡市】静岡市多文化共生総合相談センター

詳細（静岡市HP）→ https://www.city.shizuoka.lg.jp/000_002142.html

対応言語：英語、フィリピン語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、ベトナム語など

葵区、駿河区、清水区に相談窓口を配備し、相談員だけでなく、相談コーディネーターを配置して相談対応にあたります。また、14言語対応のタブレット端末を用いたテレビ電話通訳サービスを導入しています。

【浜松市】浜松市外国人学習支援センター

詳細（浜松市HP）→ <http://www.hi-hice.jp/u-toc/index.php>

外国人の大人から子供までを対象とした、総合的な学習支援の施設の拠点として、日本語教室や日本語ボランティア養成講座などを、市民協働により実施しています。

・多文化共生総合相談ワンストップセンター

詳細（浜松市多文化共生センターHP）→ <http://www.hi-hice.jp/hmc/consultation.php>

対応言語：ポルトガル語、英語、中国語、スペイン語、タガログ語、ベトナム語など
多言語相談の実施（生活相談・法律相談・メンタルヘルス相談 など）、情報提供、外国人集住自治会への支援などを行っています。

【各市町の相談窓口】

* 静岡県国際交流協会のホームページ → <http://www.sir.or.jp/>

各市町の相談窓口については、公益財団法人静岡県国際交流協会のホームページで紹介されています。病気のこと、子どもの学校のこと、仕事のこと、入国・在留手続についてなど生活で困っていることや悩んでいることを外国語で相談でき、費用は原則として無料です。

交流往来 あの日あの時

静岡県－浙江省友好交流の成長期1992年

知る段階から協力する段階へ

10周年の頃（1992年）には、国と国ではなく、地方間・民間で友好を深め、関係をよくしなければいけないということ、互いを知る段階から協力する段階へと、一歩進んだ取り組みが始まりました。

友好提携10周年記念事業では、再度、静岡県民に浙江省を知ってもらうため「浙江省節（フェア）」が開催されました。また、地元テレビ局4局協力により、初めて静岡県と浙江省を衛星で結んで、生中継によるテレビ共同番組「もっと大きく美しく、友好の花」が制作・放映されました。



【友好提携10周年記念式典】



【中国浙江省節（静岡市ツインメッセ）】

実質的な経済交流を模索

経済シンポジウムは回を重ねる毎に、相互理解から実質的協力の契機となっていき、両県省間での通常貿易、合弁合作など経済交流の機会を創出しました。大型案件としては、1985年、静岡側から浙江側に家具製造設備プラント、コート白板紙製造プラントの供給契約が結ばれました。また、1987年には、県内企業が浙江省に初めて合弁企業を設立しました。

マラソン、スポーツ交流の種をまく

友好提携5周年記念事業（1987年）では、静岡側は浙江側に桜開花の時期に開催されている日本平桜マラソンから、モクセイ開花の時期に西湖の畔を走るマラソン大会（西湖桂花国際馬拉松）の開催と、選手応援団の相互派遣を提案し、双方は共同開催しました。中国では、マラソンは1981年の北京マラソンが最初であり、その次はこのマラソン大会であり、現在は杭州マラソンと名前を変え、35000人が参加するほどの規模になっています。マラソン交流を契機に、サッカー、バスケット、卓球など多くの競技種目で交流が行われるようになりました。

都市間友好交流が始まる

県省友好提携後、県下の市と省下の市との間での都市間友好交流も始まり、その間に、1987年には島田市と湖州市が友好提携を結び、1989年には富士市と嘉興市が友好提携を結びました。その後、三島市－麗水市、富士宮市－紹興市、小山町－海寧市、菊川市－柯橋区（旧紹興県）、浜松市－杭州市などへと、都市間交流は増えていきました。

台風・豪雨に救援の手

1988年、浙江省は7月に集中豪雨、8月に台風が来襲し、未曾有の大災害に見舞われました。多くの県民が驚き、同情を寄せ、早期の復旧を願った救援金の募金活動が行われ、浙江省に救援金を届け、静岡県民の浙江省民への温かな友情を示す機会となりました。新型コロナウイルス禍の昨年、静岡側は困っている浙江側に医療物資を贈り、その後、浙江側からも困っている静岡側に医療物資が届き、相互支援の関係を築いています。

展示会から見える中国ビジネス

日本食品商談会 (日系商社ルート)



静岡県中国駐在員事務所長 浅原 敏治

上海では日本の食品が数多く販売されています。上海の在留邦人数は39,801人（2020年10月1日現在 海外在留邦人数調査統計）で、都市別では中国1位、世界4位と多く、彼らの需要が大きいと考えられます。近年、中国では日本食の人気が高く、コロナ禍で日本へ直接買い付けに行けないバイヤーが、上海で日本の食品を探しているという話も耳にします。このような豊富な品揃えを支えているのが輸入商社であり、大手のみならず中小規模の商社も活躍されています。

去る8月25日、㈱アンビシャス（日系商社）が主催する日本食品商談会を視察しました。会場は、上海市中心部のホテルの会議室で50人ほどが入れる広さで、14社の調味料や菓子類等が展示され、視察時には10人ほどの来場者が試食試飲をしながら、展示品に見入っていました。

この商談会は、今回で32回目。毎年3～4回開催され、これまでは展示品の製造元の役員や担当者が会場で来場者と商談していましたが、コロナ禍でしばらく開催できなくなり、昨年10月に同社の上海スタッフ及び協力会社である上海廉星信息科技有限公司（上海21スター）の職員が、会場展示・来場者対応を行い、アンビシャスの代表もオンラインで来場者と面談するスタイルで再開されたそうです。

約1年ぶりの開催となった今回、展示品は、地方の中小企業が製造した商品で、主催者が中国で関心を持たれるだろうと目利きして探し求めたものです。来場者の多くは、市内の小売店や料理店に商品を卸すバイヤーや上海の高級中華料理店の営業担当で主催者の得意先です。当日は、女性が多く、EMS（国際郵便）で運ばれたサンプル品を手にとってみたり、スマートフォンで自らが試食する姿を撮影したりしていました。



今回は、健康志向のスムージー、粉末、トッピング用の鯉節商品等が注目を集めていました。商談会で好評だった商品については、今後、正規輸入の可否を中国の通関当局に確認されるそうです。残念ながら、今回の展示品に本県の商品はありませんでしたが、上海では、商社自らが主催する商談会がコロナ禍も行われており、静岡県に企業が製造販売する商品も、このような商談会で展示出品してもらえるとよいと感じました。

寧波の人々－超多忙な働きざかりの世代

寧波大学外国語学院外籍教師
静岡県立大学グローバル地域センター客員講師
(静岡県日中友好協議会 交流推進員)

横井香織



今回は、寧波で多忙な日々を送る40代から50代の働き盛りの人々を対象に、その生活スタイルや価値観を紹介します。



【夜8時半 中学校前で子どもの帰りを待つ親たち】

この世代の人々の一番の関心事は、子どもの教育です。小・中・高校生の子どもをもつ親世代は、子どもが小学校に入学したときから、山積みの宿題に取り組み、塾通いで成績をアップさせて重点学校に進学させ、安定した就職先にたどり着くまで、子どもをサポートすることに追われます。親たちはわが子が、できれば公務員や教員、銀行に就職してほしいと願い、そのために塾や習い事、留学、大学院進学などに、多額の教育費を投入してきました。

ところが、今年度9月から、中国では新しく教育の「双减」政策が始まり、親たちの生活に変化が表れています。「双减」とは、宿題を減らす＝子供の負担を減らすことと、教育費を減らす＝親の負担を減らすことです。実際にどのような変化があるのか、同僚に尋ねてみると…。「これまで午後5時頃帰宅していた中学生の息子が、每晚8時半まで学校で自習することになった。」というのです。土曜日も塾ではなく、学校で勉強することになりました。親は、每晚8時半に学校へ子どもを迎えに行く日々が始まりました。親の時間的経済的負担は減ったと、多くの親は歓迎しています。子どもの負担はどうでしょうか…。

寧波に限らず中国の中学校や高校には、日本の部活動のような課外活動がないため、週末になると子どもをサッカーチームに参加させたり、ピアノや英会話などに通わせたりしています。私の同僚は家族で日曜日の午後、寧波市街地から15キロほどのところにある東銭湖でカヌー教室に参加しています。また、長期休暇のときには、車で家族旅行に出かけています。子どもに勉強だけでなく多くの経験を積ませるためには、親が情報を収集し親もいっしょになって動くことが求められるわけです。

さらに、働きざかりの世代が抱える問題に、親の介護や看病があります。いずれも同じです。親との同居は半分くらいで、別居の場合もすぐ近くに住むことがほとんどです。40代50代、とりわけこの世代の女性は、子どもや夫の世話、親の介護など、超多忙で大きなストレスを抱えています。でも、私から見ると、とてもエネルギッシュでたくましいと感じます。子どもの成長を楽しみにしながら、ときどき同世代の友人とおしゃべりしてリフレッシュし、多忙な日常に戻っていく、この世代の人々が、現在の中国社会をけん引しているのは、間違いありません。



【週末に参加しているカヌー教室】

舟 山 鑼 鼓

「舟山鑼鼓（しゅうざんらこ）」は、浙江省にある舟山諸島の伝統音楽です。舟山諸島には、約1400もの島が点在し、漁業が盛んな地域として世界的に知られています。海に囲まれた厳しい自然環境の中、島民たちは漁を生業とし独特の文化を築いてきました。

舟山鑼鼓は、銅鑼（ドラ）、太鼓、シンバル、チャルメラを基調とした音楽で、「鑼鼓」とは、主要楽器である「十三面鑼（十三音排鑼）」と「五面鼓（五音排鼓）」のことです。銅鑼や太鼓を打ち鳴らす独特な演奏スタイルで、その音は高く響きわたり、迫力があります。また、メロディーも激しく奔放で、熱烈な雰囲気があり、音の響きは色彩豊かで、とても賑やかです。

「鑼鼓」は400年の歴史があり、古来より出港、帰港、進水式等、漁における様々な場面で、大漁と海上の安全を海の神に願って、港や船上で打ち鳴らされました。島民たちによって演奏される曲には、海への願い、喜び、悲哀等が映し出され、冠婚葬祭や祭り等でも演奏されています。



演奏分類は、『吹打楽』、『鑼鼓楽』、『吹打唱』と大きくは3つに分かれます。そのうち、『吹打楽』は、舟山鑼鼓の主要な型で、舟山の4つの地域に普及し、定海区白泉鎮の「高家小唱班」、紫微郷の「老紅会吹打班」、岱山県泥峙鎮の「宮門吹打班」、普陀区沈家門鎮の「荷外十番楽隊」があります。吹打楽団は座って演奏することが多く、演奏者は少なければ10人程度、多い時は数十人で演奏されます。『鑼鼓楽』は、昔は主に宗教儀式、漁村の海祭り等の活動に用いられてきました。演技の色彩が濃厚で、氣勢が高く、変化に富んでいます。粗敲（純打撃楽）や細打（配楽曲）もできます。『鑼鼓楽』の調律と拍子は、独特のシンプルな美しさと素朴な美しさがあり、簡素さを特徴としています。吹打唱の形式は、昔は宗教活動で多く見られ、法事活動がクライマックスに入る時、楽団は吹打楽曲だけでなく、一緒に歌を歌います。五音のドラムを主として楽器を演奏し、演奏者は楽団の指揮者であり、楽団全体はドラムのリズムの変化によって、楽曲の情感と境地を表現しています。



代表的な伝統曲に、「舟山銅鑼鼓」、「八仙序」、「漁家楽」、「潮音」等があります。2006年5月20日、舟山鑼鼓は、国務院の承認を経て第一回国家級無形文化遺産リストに登録され、島民たちの文化芸能が脈々と受け継がれています。

非物質文化遺産：中国では「各民族が代々に伝承され、一般庶民の生活と密接に関わっている各種伝統文化の表現形式（例えば民俗活動、演技芸術、伝統知識と技能、及びそれと関連する器具、実物、手作業製品等）と文化空間のことである。」と定義されています。日本の文化財保護法によると、文化財を有形文化財・無形文化財・民俗文化財（有形民俗文化財と無形民俗文化財）・記念物・伝統的建造物群の5つに分類され、中国の「非物質文化遺産」は日本の「無形文化財」と「民俗文化財」の内の「無形民俗文化財」を統合したものに近いといわれています。

ヒストリー・タイムトリップ



中国の四大美女

貂蟬（不詳）

中国では、歴史上、「楊貴妃」、「西施」、「王昭君」、「貂蟬」が四大美女といわれています。貂蟬は、中国の四大美女の中では、おそらく唯一架空の女性です。『三国志演義』（3世紀・三国時代、約100年の乱世に活躍した英雄を語る小説）に登場する貂蟬は、聡明、美貌、技芸に優れた女性です。憂国の思いで月を眺めているとき、そのあまりの美貌に、月さえも雲に隠れてしまった逸話から、別名「閉月美人」とも呼ばれています。

『美女連環の計』（三国志演義より）

『三国志演義』では、後漢（25年～220年）の献帝の大臣・王允が、美女（王允の養女・貂蟬、年齢は数え年で16歳）を使って陥れる「美人計」と、仲を裂く「反間の計」の二つを使った策略「美女連環の計」を企て、董卓の殺害に成功します。これは、時代が動く見せ場の一つとなっています。

物語：貂蟬は王允の企てを承諾し、王允は貂蟬を娘として呂布に引き合わせます。呂布は彼女の美しさに心奪われ、側室として彼女をもらい受ける約束をします。さらに王允は、貂蟬を董卓にも会わせ、彼もまた彼女の美貌に心奪われます。貂蟬は迫真の演技を繰り広げ、呂布の董卓への憎悪をかき立てていきます。やがて呂布は王允に打倒董卓をそそのかされてその気になり、登城の途中で董卓を倒します。その後、呂布は貂蟬を側室として迎え入れましたが、徐州下邳城で敗れ、処刑されました。貂蟬をめぐる記述はここで終わっています。民間伝承や創作物では、曹操に引き取られたとか、関羽と恋仲になるも自害したなど、色々な説があります。



日本にも中国にも多くの貂蟬ファン

『三国志演義』に貂蟬が登場するのは、この場面だけですが、貂蟬は秘密が漏れれば命を奪われる可能性があったにもかかわらず、最後まで王允との約束を守り、自分の感情に流されず使命を全うする「智」と「勇」の人で、美人であるだけでなく、儒教的道徳観からみても優れた人物として描かれています。

『三国志演義』は、中国人からとても愛され、広く読まれている物語です。貂蟬が四大美女に選ばれたのは、ほとんど男ばかり登場するこの物語の中で、たいへん美しく、しかも男顔負けの度胸を持っていたことが、中国の民衆の心をとらえたからといった見方があります。

貂蟬の最期は、作品によって、さまざまに解釈されていますが、吉川英治の小説『三国志』では、「忠」・「孝」・「貞」の価値観を再現するために、「連環計を果たした貂蟬は自害した」と表現していると言われ、日本にも多くの貂蟬ファンがいます。

発行所：静岡県日中友好協議会
発行人：栗原 績

静岡市葵区追手町44-1（静岡県産業経済会館1F）
TEL (054) 255-8111